

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」  
2021 年度第 4 期 助成事業報告書

団体名：NPO 法人バングラデシュと手をつなぐ会

1. 振り返りエッセイ

- 枠の大きさは規定のものから変更せず、その中に収まる分量でお願いします。
- こちらの文章は提出後、アカツキ Web サイトにて公開致します。
- 必ず、「振り返りインタビュー」実施後に記入してください。

AKBN ファンドを活用した「立ち止まり対話する」取り組みについて、いつ何を行ったか・どのようなことが起きたか・メンバーの誰がどう発言したか等について、自由な形式で作文してください。なお、書き方に特に形式の指定はなく、「エッセイ」のようなイメージとしています。

当会は、「サテライトクリニック(以下、SC)再開に向けて」をテーマに、カウンターパートであるシONDANISHONスタと、オンラインで会議を重ねてきました。

当初の計画では、2021年6月から2022年3月までに、計10回(合同会議7回・日本側チーム会議3回)を予定していましたが、実際には21回(合同会議9回・日本側チーム会議12回)でした。回数が大幅に増加した理由として、実際始まってみると、日本側がイニシアティブを取らないと会議がスムーズにいかないこと、そのためには、合同会議前に日本チーム会議をしっかりと行って内容を共有し確認し合う必要があったこと、等が挙げられます。

当初合同会議は、本音で意見や思いを言いあえるように、現地医療関係者チームと日本側看護師チームの話し合いを中心に設定しました。しかし数回行う中で、現地では、シONDANISHONスタ責任者に都度報告し回答を求める必要があることがみえてきました。そのため、その後は両国責任者も含めた全体合同会議に変更することになりました。縦社会・男尊女卑社会であることを強く感じた時でした。

会議では、お互いが遠慮し合うことなく意見を述べ合うことができたと思います。中でも、SCの立ち上げから関わっていたスタッフ(3年前に退職)が、当初から参加してくれたことで、より深くSCを理解することができました。逆に残念だったのは、6月から参加していたシONDANISHON病院の医師とメディカルアシスタントが9月に退職し、会議に参加しなくなったことでした。二人はSC再開に関して熱意をもって会議に参加していただけに、日本側にとってはとてもショックな出来事でした。また日本側においては、看護師3人の医療チームを中心に、内容を煮詰め、まとめるという作業が行われ、現地とのやり取りにおいて大きな力を発揮していたと思います。さらに、事務局スタッフの的確な司会進行により、スムーズな

会議の流れが出来ていったと感じています。

現在、SC は、「コミュニティヘルスプロモーション&エデュケーションプログラム」という名称に変わりました。現状に即した内容で、どのようなやり方で実行可能なのか、模索が続いています。話し合いは今年度も継続します。

## 2. 支出報告書

■領収書ほか会計証憑書類の添付、当初予算からの残額の返金は不要です。

■枠の大きさは必要に応じて増減して構いません。

■こちらは「振り返りインタビュー」実施前に記入されても構いません。

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンド「想いと向き合う」	200,000 円
<input type="checkbox"/> その他	九州地域 NGO 活動(真如苑)助成金	130,000 円
費目	対象・使途・目的・内訳 (具体的な詳細を記入)	金額
<input type="checkbox"/> 人件費	シオンダニ側 現地調査及び報告書作成人件費 当会事務局	87,000 円
	人件費(会議運営・議事録作成等×2人)	126,000 円
<input type="checkbox"/> 賃借料		
<input type="checkbox"/> 飲食費	「知ろう・語ろうサテライトクリニック」交流会飲食費	12,185 円
<input type="checkbox"/> 消耗品費	会議用文具・インク代等	14,626 円
<input type="checkbox"/> 交通宿泊費	遠方より、会議へ参加のための交通費(鹿児島・佐賀)	20,000 円
<input type="checkbox"/> 印刷製本費		
<input type="checkbox"/> 通信運搬費	Web カメラ・マイク・スピーカー・連結ケーブル	29,797 円
<input type="checkbox"/> その他	通訳者への謝礼	20,100 円
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		309,708 円

## 3. 助成プログラムへのフィードバック

■AKBN ファンドに対する評価・疑問・要望・期待等を記載ください。

今回、AKBN ファンド助成によって、このような密度の濃い会議を設けることができたことに、感謝します。また、支出報告書も簡素なものとなっており、記入する側にとってはとても有難いです。何よりも信頼関係をたいせつにして下さっているのだなと実感させてもらえます。これからも、ユニーク且つ何かを気づかせてもらえるような企画を、どうぞよろしく お願いいたします。